

海外語学研修（台湾）

報告書

医療科学部 放射線技術学科 1回生 内田 有紀

8月20日から26日までの7日間、元培科技大学にて行われたサマースクールに参加させていただきました。異文化交流や語学力の向上はもちろんですが、医療機関の見学では普通の渡航では決して見る事の出来ない部分を見せていただき貴重な経験となりました。そんな実の詰まった7日間のうち一部をご報告したいと思います。



まず、今回の渡航において大きな課題であり、私に大きな変化を与えてくれたと感じたものは語学でした。台湾は私にとって初めて訪れた外国であり、自分の英語力で会話が成り立つのかということが大きな不安でした。初めのうちは自信が無かった英語も相手に理解してもらうことができたとなると、意思疎通できることが嬉しくなり、日を増すごとに積極的にコミュニケーションをとれるようになりました。また中国語においても、台湾の学生さんに日常会話を教えてもらい、実際に使って会話してみることで言葉が通じる楽しさを実感することができました。勉強のためだけに言語を学ぶのではなく、学んだ言語を使って海外の人と会話し言葉が通じる面白さに気づけたのは大きな収穫だったと思います。

また、異文化交流においては台湾の文化に触れることで、台湾独自の文化に驚いたり、関心することも数多くありました。台湾らしさを感じる以外にも、台湾の学生さんが「台湾は日本が大好き」と教えてくれたのですが、本当にその通りで日本のお菓子が日本語表記のままで売られていたり、観光地でも台湾の人々が日本語で話しかけてくれたりと、台湾にいながら日本を感じる機会も多くありました。そういった機会に出会うたびに台湾の人々の親日ぶりがとても嬉しく、こうした国を超える交友関係が長く続けばいいなと思いました。



そして、最も印象的だったのは台湾の人々の優しさ、温かさでした。台湾の学生さんはこの7日間、毎日朝から寝るまで私たちをサポートしてくれました。中国語の授業では分かりにくい箇所を丁寧に教えてくれ

たり、買い物に行くときには手伝ってくれたり、とても細かく気を遣ってくれました。ホスト側だからという理由もあるのかもしれませんが、それ以上に彼らの優しさに支えられた1週間でした。教えてもらった中国語の中で最もよく使った言葉が” 謝謝” だったように思います。

観光や異文化交流、病院見学など楽しい時間ばかりでしたが何より楽しかったのは台湾の学生さんと過ごした時間でした。毎晩、トランプ等ゲームをして遊んでいたのですがその時間が1番楽しかったです。1週間でここまで打ち解け合い、仲良くなれたことはこの研修に参加させていただいたからこそできたことだと思います。これからもこの機会を得た” 縁” を大切にしていきたいと思います。最後になりましたが、今回の研修に携わっていただいた全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

